

## 理 由（原案）

当該地区は、淀川洪水浸水想定区域図の想定最大規模においてほぼ全域が浸水エリアであり、浸水継続時間は2週間以上が想定されている。また、木造住宅が多い人口集中地区であり、淀川と安威川の氾濫時には居住者等の避難者数に比べ高台の避難場所が十分でないことから、災害対策上危険な状態となっている。

このため、国の河川防災ステーションを核とした高台まちづくりとして、平常時は地域活性化の拠点、災害発生時は居住者等が避難し、一定期間滞在できるようにすることにより居住者等の安全確保の拠点となる、一団地の都市安全確保拠点施設を決定しようとするものである。